

DESIGNEAST 9年ぶりにクリエイティブセンター大阪（名村造船所跡地）にて開催
DESIGNEAST IKIKIIKIIKI 2025年9月19日(金)～21日(日)



Photo: Takumi Ohta

DESIGNEASTは、「デザインする状況をデザインする」ことを目的に、2009年に始動したプロジェクトです。関西・大阪を拠点に活動するデザイナー、建築家、編集者、研究者の5名の実行委員が中心となり発足しました。このたび、2016年の開催以降、9年ぶりに、DESIGNEASTを開催します。今年のDESIGNEASTのテーマは、相反するものがともに息づき、往来する豊かな状態を表す「IKIKIIKIIKI（いきき・いきいき）」。

「予測可能で短期的・片利的なデザインの代替として、長期的で関係的なデザインは、既存の価値構造を攪乱するか?」「今・ここの“圏内”と、周縁化された“圏外”の世界観をつなぎとめ、往来する豊かな回路をデザインすることは可能か?」こうした問いに対する多様で豊かな応答が交差する場をつくりたいと考えています。今日における/これからの建築やデザインについてはもちろん、生きること・居ることそのものをめぐる対話の場となるはずです。

かつて造船場だった文化芸術創造拠点「クリエイティブセンター大阪」を舞台に、SPEAKERS CORNER、EXHIBITION、WORKSHOP、FOOD、SHOPなど 多彩なプログラムを同時に展開します。

開催概要

日程： 2025年9月19日(金)～21日(日) *19日(金)は前夜祭
 会場： クリエイティブセンター大阪 〒559-0011 大阪市住之江区北加賀屋4-1-55
 入場料： 19日前夜祭 一律5,000円（食事付き / ドリンクキャッシュオン）
 前売チケット お得な前売りチケットをPeatixで販売しています <https://designeastikikiikiiki.peatix.com>
 当日チケット 一般 3,000円、学生 2,000円（1DAY）
 PIY（Price it Yourself）チケット 10,000円～
 主催： DESIGNEAST実行委員会（家成俊勝 / 多田智美 / 原田祐馬 / 水野大二郎 / 柳原照弘）
 特別協力： 一般財団法人 おおさか創造千島財団
 交通： 地下鉄御堂筋線「梅田」駅！（大国町乗換）！地下鉄四ツ橋線「北加賀屋」駅
 地下鉄四ツ橋線「西梅田」駅！「北加賀屋」駅
 大阪市営地下鉄四ツ橋線「北加賀屋」駅4番出口より徒歩10分

Website <https://designeast.jp/> X https://www.instagram.com/designeast_jp/
 Instagram https://www.instagram.com/designeast_jp/ Facebook <https://www.facebook.com/designeastpress>

【プログラム】予定は変更になる可能性があります。あらかじめご了承ください

ジャンルを横断したゲストによるトークセッション / エキシビション / ワークショップ

SPEAKERS CORNER @3F

会場内に設置した3箇所の会場で、さまざまな人が自身の活動について自由に論じる状況をつくります。

【ゲスト】 * 2025.7.30現在

- エマヌエーレ・コッチャ（哲学者、パリ社会科学高等研究院（EHESS）准教授）
- 塚本由晴（アトリエ・ワン共同主宰、東京科学大学環境・社会理工学院建築学系教授）
- Collectif Etc
- 『万博を解体する』編集部
- 松川昌平（慶應義塾大学環境情報学部准教授）+ 堀川淳一郎（プログラマー / アルゴリズム・デザイナー）
+ 岩見遙果（京都工芸繊維大学KYOTO Design Lab特任研究員）
- 水内智英（京都工芸繊維大学未来デザイン・工学機構准教授）+ 紫牟田伸子（編集家）
+ 南部隆一（ACTANT CEO / デザインディレクター）
- 吉田勝信（採集者・デザイナー・プリンター）

Mame Kurogouchi Exhibition @4Fドラフティングルーム

日本を代表するファッションブランド・Mame Kurogouchi (マメ クロゴウチ)による展示を開催予定です。Mame Kurogouchiは、国内の産地とその技術を生かしたデザインを追求してきました。本展示ではこれまでMame Kurogouchiが産地と連携して開発した生地などを紹介し、その背景にあるデザイナーと生産者、加工機械、素材の対話によって編まれた互恵的なストーリーを感じられるような構成を予定しています。

「種と旅とDESIGNEAST」 @Studio PARTITTA赤鉄骨下

全国あちこちで、同時多発的に、日本中の料理人、農家、八百屋がつながりその土地の在来種、伝統食を味わう祝祭「種と旅と」のコーディネートで集まる料理人や各地のワインの生産者らによるマルシェ。19日の前夜祭には、「種と旅とDESIGNEAST：4人のシェフによる5皿の食事会」も予定しています。

* 前夜祭の食事会は、別途チケットの購入が必要です。

『移動する「家族」 | "Families" on the move』上映&ワークショップ @1F Black Chamber

映像エスノグラファー・大橋香奈によるドキュメンタリー映画『移動する「家族」 | "Families" on the move』（2019）を上映。母国や他国で暮らす「家族」と国境をまたがる「トランスナショナルな生活世界」を描く本作の鑑賞後、大橋監督によるワークショップも開催予定です。

Sander Wassink Temporary Studio @2F White Chamber

日本とオランダを拠点に活動するデザイナー / アーティスト・Sander Wassink（サンダー・ワッシンク）による2日間のスタジオ。公共施設などで使用後に回収されたコクヨのオフィスチェア、家屋解体時に生まれた資材を活用して、参加者とともオリジナル家具を制作します。* 要事前予約・参加費別途

SHOP/FOOD @2F

SHOP = ATELIE、ARCHIZINES、hibi/fome、home shop、DESIGNEAST SHOP

FOOD = 森林食堂

などによるPOPUPを予定しています。

BAR/LOUNGE@3F

3FのSPEAKERS CORNER会場中心に設置されるBARカウンターでは、来場者やゲストがドリンクを片手に語ることができます。

DESIGNEAST IKIKIKIKI

どこでも、なんでも、“デザイン”と呼ばれる今日。
その広がりの中、私たちは新たな希望の萌芽を感じています。

それは、ささやかな存在で目立たずとも、戦術的で、
また、長期的・包括的・再生的・利他的・自律的な営みであり、
これまでとは異なる生存・居住のあり方（Habitability）への希望です。

この希望が示す“Habitability”は、
あらかじめ計画された近代的な生活の空間ではありません。むしろ、
「テリトリーに住もう」という感覚——つまり、土地や環境に根差し、
自らを含むさまざまな人や生き物、制度、時間との関係の中、
暮らしの場をともに育んでいく、「関係的なデザイン」です。

ロビン・ウォール・キマラーの著書『植物と叡智の守り人』の中に、
「プボウィー」という言葉があります。これは、あるアメリカ先住民が、
キノコが一夜にして地面から顔を出す力を表す言葉です。

「関係的なデザイン」は、この「プボウィー」のような、
言語化される以前の表現力に近いものだと私たちは考えています。
しかし、近代的で分析的な、分別智的な見方に慣れ親しむにつれ、
私たちは、こうした力を失いつつあるのではないのでしょうか。

それらは、アーティストや人類学者、生態学者により、
言語化以前にある「宙吊り状態の価値」として表現されてきました。
また、さまざまなデザイナーや建築家が、そうした表現を感知し、
制度・法律・産業といった枠組みに橋渡ししてきた歴史があります。

しかし今、都市的な職能としての建築家やデザイナーに、
「プボウィー」のような力を取り戻すことはできるでしょうか。
「関係的なデザイン」を実践することは、この問いに対する
応答のひとつになりうるのではないかと考えています。

それは、近代と土着、都市と地域、利己と利他、西洋と東洋といった、
二項を対立させることなく、矛盾をまるごと呑み込みながら存在させる
「一即多（いっしょくた）」の状況をデザインすることでもあります。

今年のDESIGNEASTのテーマ「IKIKIKIKI（いきき・いきいき）」は、
相反するものがともに息づき、往来する豊かな状態を表しています。

- ・予測可能で短期的・片利的なデザインの代替として、
長期的で関係的なデザインは、既存の価値構造を攪乱しうるか？
- ・今・この「圏内」と、周縁化された「圏外」の世界観をつなぎとめ、
往来する豊かな回路をデザインすることは可能か？

9年ぶりに開催するDESIGNEASTでは、こうした問いに対する
多様で豊かな応答が交差する場をつくりたいと考えています。
今日における／これからの建築やデザインについてはもちろん、
生きること・居ることそのものをめぐる対話の場となるはずです。

DESIGNEAST実行委員会（柳原照弘／家成俊勝／原田祐馬／多田智美／水野大二郎）

DESIGNEAST (デザインイースト) について

DESIGNEASTは、2009年に始動したプロジェクトです。

大阪を拠点に活動するデザイナー、建築家、編集者、研究者の5名の実行委員が中心となり、“デザインする状況”の乏しい大阪の状況をただ嘆くのではなく、対話・交流の場を自らつくり出すことを目指してきました。この取り組みは、いわば「究極の趣味」とも言える個々の想いと同じ問題意識を共有する人たちとの世代を超えた豊かなネットワークにより成り立っています。「Social Sustainability」「周縁と中心」「状況との対話」「場への愛」「CAMP」「XO」「移動 MOBILITIES」など毎回ユニークなテーマを設定。国内外のゲストによるトークやワークショップ、映画上映、マルシェなどを通して、分野や形式を横断し、渾然一体となるような場をつくってきました。多様化するデザインの現在と向き合いながら、DESIGNEAST自体も変化し続ける運動体として試みを続けています。

過去のDESIGNEASTのテーマ

- 00：デザインと都市
- 01：social sustainability
- 02：周縁と中心
- 03：状況との対話
- 04：場への愛
- 05：CAMP
- 06：XO (eXtra-Ordinary)
- 07：MOBILITIES = 移動

主催：DESIGNEAST実行委員会

家成俊勝（建築家、dot architects共同主宰）

原田祐馬（デザイナー、UMA/design farm代表）

多田智美（編集者、MUESUM代表、どく社共同代表）

水野大二郎（デザイン研究者、京都工芸繊維大学教授）

柳原照弘（デザイナー、Teruhiro Yanagihara Studio 代表）



家成俊勝



原田祐馬



多田智美



水野大二郎



柳原照弘

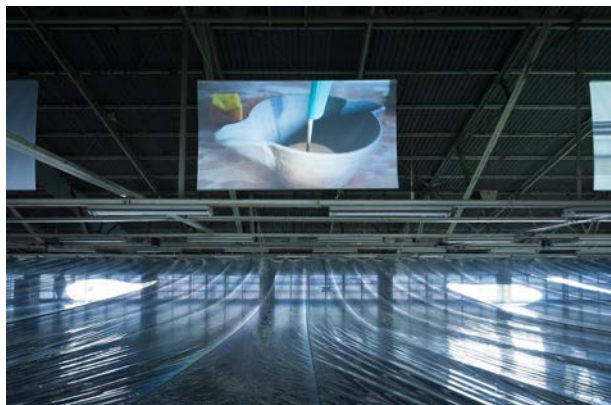
過去の開催より



MAIN TALK (Enzo Mari)



SPEAKERS CORNER



EXHIBITION



MOVIE



WORKSHOP



SHOP



FOOD



BAR

お客様お問い合わせ先
DESIGNEAST実行委員会
Email : office@designeast.jp
Web : designeast.jp

プレス問合せ先
HOW INC.
Email : info@how-pr.co.jp
Tel : 03 5414 6405